



現和の子

やさしく・かしこく・たくましく

令和5年度学校だより
西之表市立現和小学校
令和5年10月25日発行



コロナ禍からの再生と飛躍

校長 横山 政文

ここ最近、朝夕めっきり涼しくなり、晴れの日、天高く澄みきった青空に白い雲が綿あめのごとく浮かんでいます。過ごしやすい季節、いろいろな秋を楽しみましょう。

11日(水)の小学校陸上記録会では、市内全小学校の5・6年児童が一堂に会し実施され、新記録に迫る種目が出るなど応援や歓声、熱気あふれる記録会となりました。

また、15日(日)に行われた地区スポーツ少年団競技別交歓大会の【剣道競技】では、「現和剣友会」が30年ぶりの優勝を果たし、県大会出場を勝ち取りました。個人戦も現和の子が複数優勝を飾るなど大活躍の一日となりました。

本県では、51年ぶりに国体(特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」)が開催されました。コロナ禍で3年延期となり、「特別」を冠した大会として最後の大会です(来年以降「国民スポーツ大会」と名称変更)。総合開会式をテレビで視聴しましたが、式典前演技の構成、演技、迫力等素晴らしく、国内最大のスポーツの祭典にふさわしいセレモニーでした。全国から集まった選手、スタッフ、関係者等をおもてなしするため尽力された演技指導者や演技者(児童生徒等)の努力の結晶です。会場を埋め尽くした観客の皆さんの割れんばかりの拍手喝采がそれを物語っていました。

また、振り返れば、私自身12年前から国体業務に携わってきた縁もあり、県外のいろいろな関係者やトップアスリートの皆さん方とお話する機会をいただきました。皆さん様に謙虚で、丁寧な言葉遣いで接していただき、目標に対する直向きさや人間性の大きさを感じることもばかりでした。その折々の出会いと感動に今でも感謝しています。

鹿児島県出身で京セラを創業し、KDDI設立やJAL再生のため会長に就任して再上場を果たし「経営の神様」と呼ばれた稲盛和夫さんは、「人は、謙虚にしておごらないことが肝要である。」と言っています。大学の理工学部を出た技術者である稲盛さんは、京セラ創業当初、経営・マネジメントに関して素人であり、経営者としての判断や決断に大変ご苦労をされました。そんな中、人としての原点に立ち返り「人間として正しいことなのか、善いことなのか」ということを基準として物事を判断していくようにされたそうです。この言葉に続けて、正義、公正、勇気、誠意、謙虚、さらに愛情など人間として守るべき基本的な価値観を尊重して判断したとも述べられています。このことは、学校で学ぶ「心の教育の充実」そのものと言えます。

本校では、11月1日(水)から7日(火)の期間中、「地域が育む『かごしまの教育』県民週間」にあわせて「学校を見に行こう」週間を実施します。午前(8:30~12:05/1校時~4校時)は、自由に参観していただけます。午後(13:50~14:05)は、たんぼぼ会の方々がお話会を開いてくださいます。

なお、1日(水)は、各学年の発表や親子活動等を行う予定です。創立145周年を迎える歴史と伝統を引き継ぐ心豊かな現和の子たちの様子を、ぜひご覧ください。

11月行事予定

1日(水)～7日(火) 地域が育む「かごしまの教育」県民週間	18日(土) 青少年育成の日
3日(金) 文化の日	19日(日) 第52回西之表市駅伝競走大会
11日(土) 土曜授業	21日(火) 避難訓練(火災)
13日(月)～19日(日) 学力向上週間	22日(木) 持久走大会、学級PTA 臨時PTA総会
14日(火)～17日(金) 教育相談(保護者)	23日(木) 勤労感謝の日
	26日(日) 第57回種子島相撲大会
	28日(火) 集合学習(低学年)
	30日(木) 集合学習(中学年)



西之表市小学校陸上記録会

11日(水)は、西之表市小学校陸上記録会が開かれました。運動会直後から練習に励んできた5・6年生は、他校の同級生と記録を競い合うという緊張感に包まれました。向上心や挑戦する心を育む、貴重な体験となったことでしょう。

【現和小の結果】

【6年男子60mハードル走】 【6年女子60mハードル走】

1位 園田 樹 11" 2 2位 西川 愛唯 11" 7

【6年女子走り幅跳び】

2位 小林 明里 295cm

【6年男子400mリレー】

3位(浦上・折口・園田・畠中) 1' 09" 6

【6年女子400mリレー】

3位(小林(明)・小林(日)・西川・糠川) 1' 11" 3



11月1日～7日は県民週間です。

11月1日(水)～7日(火) 県民週間です。どなたでも学校の様子を参観いただけます。どうぞ、子供たちに会いにきてください！(日程表面参照)

